

お役に立てるお薦めの

4冊



精神医療の専門性 「治す」とは異なるいくつかの試み

近田真美子 著

精神医療や看護の専門性とは何なのか。本書は、ACT（包括型地域生活支援プログラム）で行われていた、神社のお札を利用して精神症状を落ち着かせる、庭にシイタケの原木を持ち込んで関係性を深めるなど、医療とは相容れないような不思議な実践を、現象学を用いて可視化し、精神医療の専門性を探求した記録。

定価：2200 円(本体 2000 円 + 税 10%) / 医学書院



医療安全ワークブック 第5版

川村治子 著

厳選した必須の知識を根拠からわかりやすく解説した医療安全の定本。今版は、着実に進む医療安全対策をふまえて記述を見直し、抗がん薬の事故対策や胃瘻、人工呼吸器、心電図モニターの管理などを追加して、最近の状況に即した内容にアップデートした。看護学生、臨床看護師、教育担当者の必携書。

定価：3190 円(本体 2900 円 + 税 10%) / 医学書院



シフトチェンジをスムーズに 更年期からの体のトリセツ 不調を改善・予防するセルフトレーニングと指導

奥谷まゆみ 著

現在の体の状態は、これまでの体の使い方によってできている。うまく使うコツを身につければ、不調を改善することができる。この考えのもと、「整体トレーニング」という独自メソッドを開発。不調、不安を解消し、快適に仕事や生活を続けるための体づくりのコツを、イラストや写真、動画でわかりやすく伝授する。

定価：2420 円(本体 2200 円 + 税 10%) / 日本看護協会出版会



悲しみを言葉に 終末期の子どもと家族のこころのケア

ドロシー・ジャッド 著
鵜飼奈津子 監訳、鈴木 誠 ほか 訳

心理療法士による、白血病の再発で骨髄移植をしたものの亡くなった7歳の男の子の最期の2カ月半の記録。幼い患者の抱える恐怖や怒り、家族や医療従事者の心情、心理療法士本人のダメージを受けた心のケアについて丁寧に綴る。死の迫る患者の心のケアの在り方に再考を促す、終末期医療に携わる専門職必読の書。

定価：4180 円(本体 3800 円 + 税 10%) / 誠信書房